学校番号	302

平成 31 年度　音楽科

教科	音楽	科目	ソルフェージュＢ（聴音）	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	「高校生の音楽②」　（教育芸術社　出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・ ソルフェージュ力はすべての音楽活動の基礎的な力になります。視唱、視奏、聴音のさまざまな課題を通じて、総合的に、多角的に関連をもたせながら学びます。常に専攻との関わりを考えておくようにしましょう。各自で、またグループでリズム創作や聴音や視唱の課題創作にもチャレンジしてみましょう。
・ 習熟度別に４展開で行います。

2　学習の到達目標

音楽を形作っている要素を正しく捉え、音楽性豊かな表現をするための基礎的な能力を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能
観点の趣旨	音楽に関する基礎的な力を付けることで、音楽文化を尊重し、主体的、創造的に音楽の学習に取り組もうとする。	音楽に関する基礎的な力を付けることで、音楽を形つくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽表現を工夫し、表現意図をもっている。	音楽に関する基礎的な力を付けることで、創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、創造的に表している。
評価方法	確認テスト 定期テスト 観察等	確認テスト 定期テスト 観察等	確認テスト 定期テスト 観察等
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c		
4～7月		C Dur、a moll、G Dur、e moll、F Dur、d moll D Dur、h moll、B Dur、g mollの単旋律の聴取 簡単な複旋律聴音 C Dur、a moll、G Dur、e moll、F Dur、d moll C Dur、a mollによる密集4声体の聴取(機能和声の進行による) 定期テスト(単旋律、複旋律、密集4声体)	○	○	○	a:今期の学習内容について理解しようとしている。 b:今期の学習内容において音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受している。 c:今期の学習内容を活用する技能を身に付けている。	確認テスト 定期テスト 観察等
8～12月		C Dur、a moll、G Dur、e moll、F Dur、d moll D Dur、h moll、B Dur、g mollの単旋律の聴取 簡単な複旋律聴音 C Dur、a moll、G Dur、e moll、F Dur、d moll D Dur、h moll、B Dur、g moll 密集4声体の聴取(機能和声の進行による) C Dur、a moll、G Dur、e moll、F Dur、d moll 定期テスト(単旋律、複旋律、密集4声体)	○	○	○	a:今期の学習内容について理解しようとしている。 b:今期の学習内容において音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受している。 c:今期の学習内容を活用する技能を身に付けている。	確認テスト 定期テスト 観察等

12～2月		C Dur、a moll、G Dur、e moll、F Dur、d moll D Dur、h moll、B Dur、g mollの単旋律の聴取 複旋律聴音 C Dur、a moll、G Dur、e moll、F Dur、d moll D Dur、h moll、B Dur、g moll 密集4声体の聴取（機能和声の進行による） C Dur、a moll、G Dur、e moll、F Dur、d moll D Dur、h moll、B Dur、g moll	○	○	○	a：今期の学習内容について理解しようとしている。 b：今期の学習内容において音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受している。 c：今期の学習内容を活用する技能を身に付けている。	確認テスト 観察等